

経済価値ベースのソルベンシー規制

- 経済のグローバル化による内外経済・市場の変動等、保険会社を取り巻くリスクが変化する中、保険会社においては、リスク管理のより一層の高度化を図っていくことも重要な課題。その一環として、経済価値ベースの考え方についても、受動的な目線ではなく、自らのリスク管理の向上に資するものとして、能動的に取り入れていただきたい。
- 金融庁としても、国際的な議論も踏まえつつ、保険会社のリスクを包括的に捉えた実効的かつフォワードルッキングな健全性政策を実施していくことが必要と考えており、その一環として、経済価値ベースの評価・監督手法の検討に関する影響度調査（フィールドテスト）を実施してきたほか、目指すべき健全性政策について関係者と広範な議論を行って来たところ。
- また、経済価値ベースのソルベンシー規制に関しては、「経済価値ベースのソルベンシー規制等に関する有識者会議」の第一回会合を6月26日に実施したところ。参加者からは、
 - ・ 規制の導入に当たっての激変緩和措置のような考え方はあり得るが、質の高いリスク管理を行っている会社がそれにより市場や契約者から信任を得て、他社がそれに追随していくような流れを作るため、規制が経済価値ベースのリスク管理と親和的な方向になることは意義がある、
 - ・ 保険会社のリスク管理の高度化を促す観点からも、スピード感を持って経済価値ベース規制に移行すべき、との意見があった一方、
 - ・ 経済価値ベース規制が導入された場合は、保険会社の内部管理の中でのみ経済価値ベースの考え方をを用いている場合と比べて厳しくリスクを見ていくこととなり、これまでの商品戦略や投資戦略に様々な変化が起こる可能性がある、
 - ・ 経済価値ベース規制を導入した他国において、保険会社の投資行動や長期保障商品の提供等について生じた変化を踏まえつつ、そうした意図せざる影響をどのように克服していくかにつき、後ろ向きではない形でしっかり議論していくべき、

との意見も聞かれたところ。

- こうした意見も踏まえつつ、次回以降の会合において更に議論を深めていただくことを期待。また、本有識者会議と並行しつつ、保険会社とも更なる対話を行っていきたい。

(以 上)